

「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」 8月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【山梨県の生育状況】

図 作柄表示地帯別の生育の良否
(8月15日現在)

山梨県における令和元年産水稻の8月15日現在の生育は、生育期間を通じておおむね天候に恵まれたことから「平年並み」で推移している。



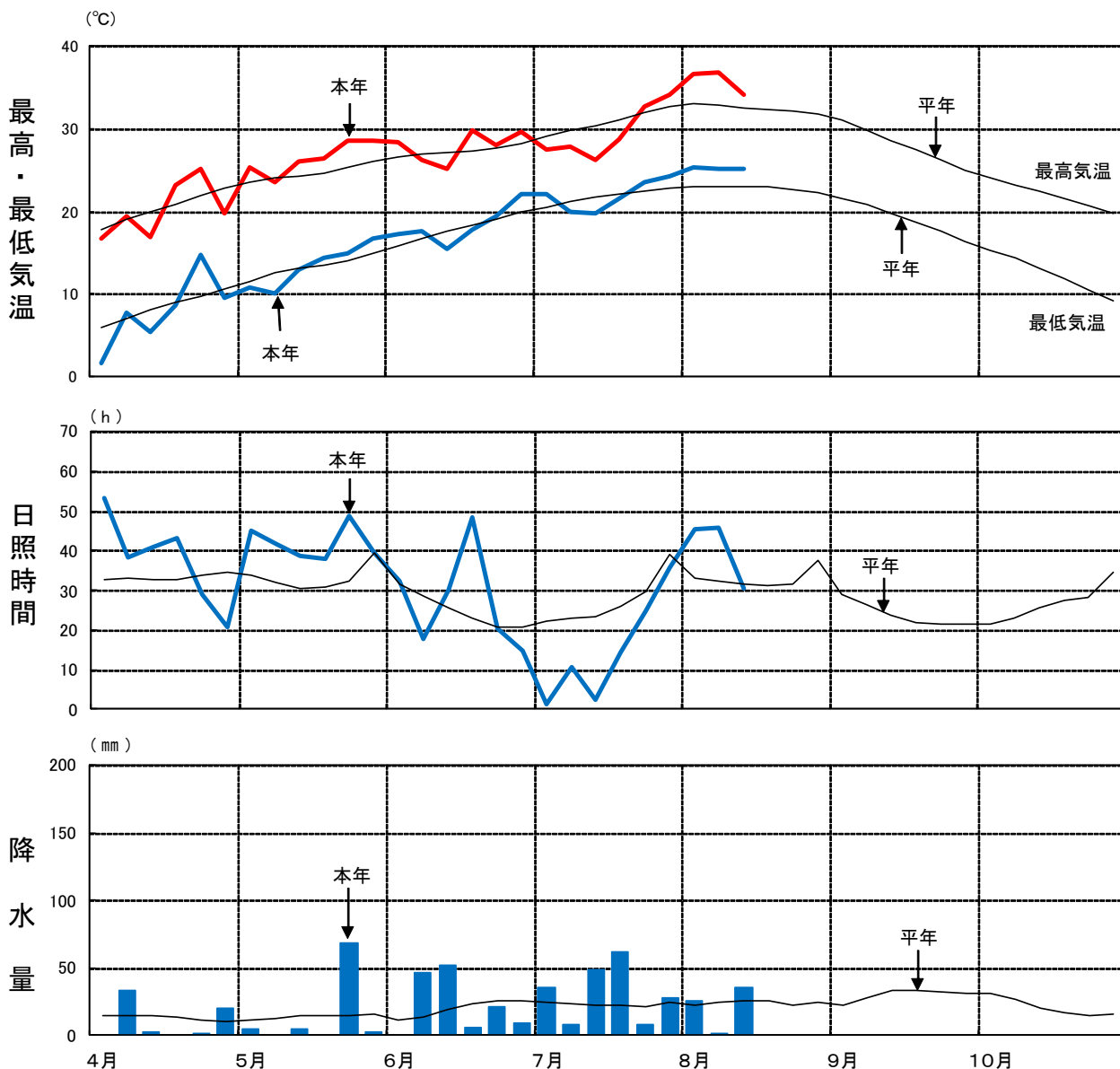
注：本図で用いた生育の良否は稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

- 1 田植最盛期は、平年並みとなった。
- 2 出穂最盛期は、7月上中旬が低温・日照不足で推移したことから、平年に比べ2日遅くなった。
- 3 草丈は、7月上中旬の低温・日照不足により生育が停滞したものの、7月下旬以降、高温・多照で経過したことから「平年並み」となった。
- 4 茎数は、7月上旬の低温・日照不足により分けつが抑制されたものの、7月下旬以降、高温・多照で経過したことから回復し「平年並み」となった。

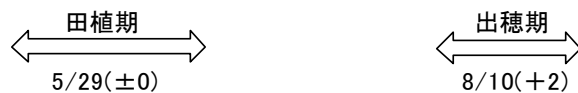
○ この資料は、「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」8月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（甲府）



資料：気象庁



注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速（日数）を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 山梨県拠点 統計チーム
 電話：055-254-6019
 F A X：055-254-6059